

ハッピー通信



2025年4月1日発行
25-14号

現場から（最近のニュースから）

その前提、正しいですか



2024年ベストセラーランキングビジネス書部門で4位（トーハン調べ）となった話題の書『頭のいい人だけが解ける論理的思考問題』は、下は10歳から、上は84歳まで、あらゆる世代で「面白すぎる！」と話題になっているという記事がありました。

の中から、以下は「すべてを疑う思考ができる人」だけが解ける問題の一つだとうことで紹介されました。

「正直者と嘘つきの島」

ある島には4タイプの人間がいる。

「いつも正直者」は、いつも真実を語る。

「ごまかす正直者」は、いつも真実を語るが、自分が犯人の場合は「自分は無実だ」と嘘をつく。

「いつも嘘つき」は、いつも嘘をつく。

「正義の嘘つき」は、いつも嘘をつくが、自分が犯人の場合は「自分は犯人だ」と真実を語る。

この島で、プリンが勝手に食べられる事件が起きた。 目撃者によると犯人は1人。

その間に犯行が可能だったA,B,Cの証言は、こうだ。

A 「私は無実だ。Bが犯人だ。Bは正直者だ」

B 「私は無実だ。Aが犯人だ。Cは私とは違うタイプだ」

C 「私は無実だ。Aが犯人だ」

プリンを食べたのは誰だろうか？

この問題はきちんと論理的に解けるもので、100%、解ける問題だと強調しています。そこで、一つずつ考えて行くと解けるそうですが、途中で大きな違和感が出て来て、どう考えても答えが出て来ないそうです。記事では一つずつ解いていましたが、ここでは省略します。

実は、この問題には「落とし穴」が仕掛けられているということです。簡単に言うと、目撃者もその島の人物なので、「目撃者が嘘つきの可能性がある」ということです。「犯人が1人ではない」という前提で解けば、正解が出て来るということです。まとめとして「結果がおかしいなら前提を疑え」ということを書いてあり、次のような結論がありました。

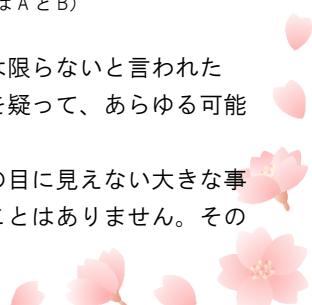
・当然のように受け入れている前提自体が、真実とは限らない

・あらゆる情報を疑い、あらゆる可能性を考える必要がある

（3月28日 DIAMONDonline <「本を読まない小6の娘が熱中して読んでます！」との声も。子供もどハマリしている異例のビジネス書で紹介されている問題『正直者と嘘つきの島』とは？>より：正解はプリンを食べた犯人はAとB）

いまは情報過多時代です。そのような時代に、当然と思うことが真実とは限らないと言われたら、いったいなにを根拠にして考えれば良いのでしょうか。すべての情報を疑って、あらゆる可能性を考えることは、実際には無理でしょう。

実は、すべてのことには、目に見えない大きな事実が隠れています。その目に見えない大きな事実は変わることがないので、それを土台にすれば揺れたり、迷ったりすることはありません。その目に見えない大きな事実について、あなたにお知らせしたいのです。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれています。隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出しができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち碎いて勝利なさいました(I ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」